

報道関係各位

住商情報システム株式会社

株式会社長谷工 アネシスは、
グループ企業各社の基幹システムとして「ProActive E²」を導入、
2008 年 1 月から本番稼働を開始

～ 長谷工 アネシスグループ全 11 社の基幹システムを統一 ～

株式会社長谷工 アネシス殿（本社：東京都港区、代表取締役社長：三井啓太郎、以下長谷工 アネシス）はグループ統一の新基幹業務システムとして、この度、住商情報システム株式会社（略称：SCS、本社：東京都中央区、代表取締役社長：阿部康行、以下住商情報システム）開発の ERP システム「ProActive E²」を採用し、2008 年 1 月より長谷工 アネシスグループ全 11 社で、本番稼働を開始いたしましたので、以下の通り、お知らせいたします。

I. 新システム検討の背景：

長谷工 アネシス殿では、決算開示の早期化、連結経営の重要性の高まりによる、親会社である長谷工コーポレーション殿への決算報告の短期化により、次のような課題を抱えていました。

- ・ 各社・各支社で異なる基幹業務システムが稼働しているため、会計実績の集計を迅速に行うことができない
- ・ グループ各社が個別の勘定科目体系・業務ルールで運用されているため、業務の属人化が進み、決算期などの繁忙期に経理部員の業務負荷を平準化することができない
- ・ 内部統制強化への対応において、業務フローが各社各様のため、文書化等に関する作業負荷が軽減できない

これらの課題を解決するために、グループ全体で業務フローを再構築・標準化し、業務効率の改善とグループ企業全体の経営状況を速やかに把握できることを目的として「ERP 導入プロジェクト」を発足し、新システム構築の検討を開始されました。

II. 当社の提案：

当社は、長谷工 アネシス殿の提案依頼書を基に、「ProActive E²」と当社のグループ統一システム導入ソリューションを用いた、新基幹業務システムを、以下の 5 つのポイントでご提案いたしました。

1. 複数の企業を1つのシステムとして管理できる「ProActive E²」が持つ豊富な機能と統合された業務プロセスにより、グループ全体での業務標準化・効率化を実現できること
2. 「ProActive E²」は統合型システムであるため、各業務モジュールから財務会計への仕訳がリアルタイムに連動し、会計実績の把握および意思決定の迅速化を実現できること
3. 「ProActive E²」の承認ワークフロー機能による、伝票申請・承認の電子化が実現され、内部統制レベルを高めることができること
4. 「ProActive E²」の標準提供ドキュメントである、標準業務フローを用いることで、内部統制に関する文書化業務の負荷軽減を実現できること
5. グループ統一システムの豊富な導入実績・ノウハウをベースに構築した導入方法論と経験豊富なコンサルタントによる、安心・確実なサポートを提供できること

Ⅲ. 「ProActive E²」採用のポイント:

1. 豊富な業務機能と円熟の業務プロセスに基づくノンカスタマイズを前提とした提案:

ほぼノンカスタマイズでのグループ全体のシステム更改を実現できる豊富な機能と、同業他社の一般的な業務フロー・事例を踏まえた解決策を提示した点を評価いただいた。

2. システム導入時のサポート体制が手厚い:

グループ統一システム導入実績が豊富であり、グループ内の経理業務の標準化を任せられること、内部統制に関するドキュメント整備支援の導入サポート体制への安心感を評価いただいた。

Ⅳ. 長谷工 アネシス殿のコメント:

長谷工 アネシス 経理部濱田部長は以下のようにコメントされています。

『2006年4月から本格的に製品選定を開始し、8月に住商情報システムの「ProActive E²」の導入を決定いたしました。グループ全体でのシステムの入替えと合わせて、グループ11社の経理業務を標準化する点において、苦労もありましたが、グループ導入の実績・経験を持った住商情報システムのコンサルタントのサポートもあり、2007年4月にグループ内でのパイロットユーザ稼働を実現できました。その後、グループ各社を3グループに分け、2007年10月、11月に随時稼働していきました。実際に稼働済みの企業での運用を通じて、グループ全体での導入が完了する2008年1月以降における、システム導入効果のイメージも見えて参りました。また、その他の効果として、経理部員間のコミュニケーションが活発になり、更なる業務改善への意欲も高まってきており、「ProActive E²」の豊富な機能を深く活用することにより、改善できると確信しています。今後も自社の業務改革を更に推進していくとともに、住商情報システムのサポートに期待しております。』

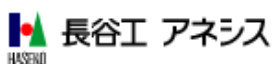
V. 「ProActive E²」について:

「ProActive E²」(プロアクティブ イーツー)は、“ProActive”の 3,500 社を超える豊富な実績と業務ノウハウ、そして確かな技術を礎に生み出された、純国産 ERP パッケージです。

“グループ経営の強化”、“経営の可視化”、“コンプライアンスの強化”、“セキュリティの強化”、“変化への対応”をベースコンセプトに開発され、グループ会社対応・豊富なセグメント・データ参照権限・利用可能メニュー制限等のセキュリティ・統制機能・伝票の承認ワークフローを標準機能として保有し、企業の経営をサポートするシステム基盤として多くの企業に採用されています。

さらに、将来的なシステム範囲の拡大を可能とするファミリー製品群「ProShop」により、周辺業務を含めた業務改善を実現します。

VI. 株式会社長谷工 アネシスの概要:



社 名	株式会社長谷工 アネシス
設 立	2003 年 4 月 1 日
資 本 金	20 億円
従 業 員	60 名(2007 年 4 月 1 日現在)
事 業 内 容	サービス関連事業グループを統括する持ち株会社としての経営管理、新規事業の企画開発(リユース事業)
関 連 会 社	株式会社長谷工コミュニティ 株式会社長谷工ライブネット 株式会社センチュリーライフ 株式会社長谷工システムズ 株式会社長谷工インテック 等

VII. 本件に関するお問い合わせ先

【製品に関するお問い合わせ先】

住商情報システム株式会社

ProActive 事業部 ProActive 営業部

TEL:03-5166-1760

E-mail: go@proactive.jp

URL: <http://proactive.jp/>

【報道関係に関するお問い合わせ先】

住商情報システム株式会社

広報・IR 部

担当: 臼田、鶴木

TEL:03-5166-1150

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

以上